

人間関係講座（グループ）第100回 [春]

-グループの中での人間関係の理解のために- 基礎コース

担当者	津村 俊充（南山大学名誉教授） 池田 満（南山大学人文学部心理人間学科准教授）
概要	<p>この講座は、「体験学習」という方法を用いて、グループの中での人間関係について学んでいくものです。ラボラトリー方式の体験学習の入門講座として設定しています。1つの講座は2日間のプログラムで構成しています。</p> <p>私たちは、会社や組織、家族や仲間関係など、常にグループの中に身を置いています。「グループの中の人間関係は複雑で難しい」ということをよく聞きます。その理由の1つとして、グループで何らかの仕事や課題に取り組む場合に、話や課題の内容（コンテンツ）に夢中になり、他者の気持ちやお互いの関係（プロセス）に目が向けられず、いつの間にかお互いの思いにズレが生じることが考えられます。</p> <p>この講座は、以下の学習目標に向けて実施します。</p> <ol style="list-style-type: none">①グループの中で他者と関わる自分の特徴に気づく②「コンテンツ」と「プロセス」とは何かを理解する③グループの中での人間関係（グループプロセス）に目を向ける重要性に気づく <p>この講座では、ラボラトリー方式の体験学習を用いた実習（典型的な実習）と、グループに関する理論の小講義によって学習を深めていきます。グループの人間関係について理解を深めたい方、ラボラトリー方式の体験学習について知りたい方など、さまざまな方にお勧めです。</p> <p>【プログラムの内容（予定）】</p> <p>小講義「人間関係を体験から学ぶ」「体験学習のサイクル」「コンテンツとプロセス」 「グループプロセスとは?」「グループでの意思決定」など グループでの問題解決実習（実習「東京観光」等）とふりかえり グループでの創造的実習（実習「ブロックモデル」等）とふりかえり グループでのコンセンサス実習（実習「ボランティア」等）とふりかえり</p>
日程	2016年6月25日（土） 10:00～18:00 6月26日（日） 9:00～17:00 土日集中
定員	36名
会場	南山大学 D棟 D51教室
受講料	11,200円（税込）
メルマガ講座報告	<p style="text-align: right;">担当講師 池田 満 記</p> <p>6月25日、26日の二日間にわたり、南山大学D棟5階D51教室において、「第100回人間関係講座（グループ）」が開催されました。今回は、津村先生（南山大学名誉教授）とともに、私が講座を担当させていただきました。</p> <p>1日目の朝、前日からの雨が残り、35名の参加者が教室に集まってこられました。今回も、名古屋近郊にとどまらず遠方からも多数のご参加をいただきました。はじめに二日間の講座を通してのねらいの提示に引き続き、参加者ひとりひとりが、自らのねらいを設定する時間を設けました。わかちあいの時間でねらいを相手に伝える中で、文字では表現しきれない、ねらいの明確化が進んだようでした。昼食をはさみ午後には、二つの実習を通して、人間関係においてプロセスを見る意味、ラボラトリー方式の体験学習での学習の進め方などを、体験を通して学びあう時間を設けました。講座一日目が終わったのちには、参加者のうちの何人かが栄での懇親会（?）の相談をしている声も聞かれ、座学だけでは得られない、人と人との関係作りの成果の実感を、講座担当者自身が感じることができました。</p> <p>2日目は前日と違って晴天となり、午前と午後それぞれ一つずつの実習を通して、グループの中で人と関わること、グループでの意思決定など、本講座のメインテーマに取り組みました。実習のふりかえりは、これまでは当たり前のように行っていた作業分担や役割の決定、自分の発言スタイルなどの裏に、様々なプロセスが隠れていたことに気づく機会となりました。</p> <p>2日間の講座を通し、参加者の方々が実習、ふりかえりに積極的に参加して下さったことで、参加者同士、そして担当者にとっても学び多き時間を過ごすことができたと感じております。講座で得た学びや気づきが、参加者の方々の日常にとって有益となりますこと、そしてまた、どこかでご活躍の様子をうかがえますこと、心から願っております。</p>